

知の市場 金融特論2

～金融業務を通じて、リスクと リターンの正体を探る～

開講機関：お茶の水女子大学
ライフワールド・ウォッチセンター（増田研究室）

連携機関：



2011年3月1日

連携機関のご紹介

- 社名:三菱UFJトラストビジネス株式会社
Mitsubishi UFJTrust Business Co.,Ltd
- 本社:
 - ・ 〒107-0061 東京都港区北青山1-5-4
三菱UFJ信託銀行新青山ビル5階
- 代表者:取締役社長 城戸 一彰
- 設立:昭和50年4月1日
- 資本金:100百万円
- 株主:三菱UFJ信託銀行（全額出資）
- 事業内容:
 - ・ 事務代行
 - ・ 人材派遣
 - ・ 有料職業紹介
- 事業所:
 - ・ 関東...青山(本社)、中野、丸の内、晴海、千葉
 - ・ 関西...淀屋橋
- 従業員:約2,400名



教育活動の趣旨

- 信託銀行は金融にとどまらず様々な分野を手がけており、業界においてユニークな地位を占めている。
- 当社にはそうしたさまざまな分野の経験者が信託銀行からの出向、転籍という形で在籍。
- こうした経験者を中心に、信託銀行がその業務を通じて果たしている金融の役割について、一般の受講者に理解してもらう機会を提供したい。
- 上記趣旨に賛同して集まった社内外の講師によって一連の講義を組成。

2011年度開講内容及び目標と課題

- 2011年度は最初の開講であり、信託銀行関連分野から以下の3分野を採り上げた。
 - ①市場運用に関する分野(4講義)
 - ②金融と危機管理に関する分野(5講義)
 - ③社会的ニーズの広がりに関する分野(5講義)
 - ・ 以上に加えて最後にまとめを行い、合計15講義とした。
- 講師はそれぞれのテーマにおける経験者13人。
- 色々な分野において金融が担う役割を、実務に基づいた観点から受講者の理解を深めることを目標とし、その上で社会・企業と銀行、特に一般にわかりにくい信託業務もテーマに含めて、金融の関わり方を受講者とともに考えて行きたい。

講師ご紹介(五十音順・敬称略)

氏名	所属機関	氏名	所属機関
臼木 孝	ゆうちょ銀行 執行役調査部長	中村 裕一	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 常勤監査役
岡田 康	三菱UFJトラストビジネス 代表取締役会長	灰谷 健司	三菱UFJ信託銀行 リテール企画推進部財務コンサルタント
加藤 道彦	アイ&アイ・アソシエイツ 代表取締役	松尾 建治	国際投信投資顧問 投信調査室長
橘田 万里恵	三菱UFJ信託銀行 不動産コンサルティング部副部長	宮崎 敬	三菱UFJトラストビジネス 常務取締役
斎藤 聖美	ジェイ・ボンド東短証券 代表取締役社長」	吉田 茂生	キーストーン・パートナーズ 代表取締役会長
千田 文彦	三菱UFJトラストビジネス 常務取締役	渡辺 俊之	三菱UFJトラストビジネス 監査役
堤 智章	キーストーン・パートナーズ 代表取締役		

①市場運用を考える

N O	講義日 講義名	講義概要	講師
1	4月13日 投資理論と 現実世界	アナリスト業務の基本となっている基礎理論をとりあげ、現実世界と対比しながらその考え方を考察し、限界と活用方法を考える。また、実際の運用経験を元に、経済動向やイベントなどにより市場がどのように反応するかを考え、その理論面を考える。	三菱UFJトラストビ ジネス 渡辺 俊之
2	4月20日 資産運用を 考える(1)	日本の運用マーケットの発展および現状を概観し、国際比較等を通じてその特徴を捉える。その中で機関投資家が大きな影響力を持つ年金運用マーケットをとりあげ、その現状、課題と今後の展望を述べる。	三菱UFJトラストビ ジネス 岡田 康
3	4月27日 資産運用を 考える(2) 投資信託の 課題と運用	個人投資の大きなツールとなっている投資信託とその業界を展望する。とくに投資信託の組み方と運用の仕方、実務的課題などを説明しながら、投信利用の意味や最新動向などについて販売方法や手数料(報酬など手数料税制など)を幅広い視野からとのあり方を検証しながら、今後の展望を論じる。	国際投信投資顧問 松尾 建治
4	5月11日 金融市場の 虚と実	商社勤務時代からの長年の運用経験を踏まえ、金融市場の現実とパーセプションのギャップを具体例を挙げながら指摘する。	ゆうちょ銀行 臼木 孝

②金融と危機管理

N O	講義日 講義名	講義概要	講師
5	5月18日 銀行与信と 失われた10 年	1990年台から2000年にかけてバブルの崩壊によって銀行の不良債権処理が急増したが、その間の銀行与信の考え方や企業格付けによる与信判断の変貌と企業再生のあり方がどのように変わってきたかを検証する。	キーストン・パートナース 吉田 茂生
6	5月25日 企業再生	不良債権処理が本格化するとともに、企業の再生に内外の金融機関やファンドが果たして来た役割を展望して、今後の課題とともにこれからの再生の望ましいルートを考えていく。	キーストン・パートナース 堤 智章
7	6月1日 投資銀行の 役割	元モルガン・スタンレーパートナーである講師がゴールドマン・サックスなど米国投資銀行を分析し、その強大なパワーと役割を検証する。	ジェイ・ボンド東短証券 斎藤 聖美
8	6月8日 金融危機と 危機管理 (1)	リーマンショックによる金融機関の対応について、経済状況や個別金融機関の行動、政府機関の動きなどから総合的に見直すとともにその原因・解決策を探る。	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 中村 裕一
9	6月15日 金融危機と 危機管理 (2)	リーマンショック以降の当局による金融機関管理と民間金融の役割の大きな流れの変化について、あらためて検証する。	

③社会的ニーズの広がりと金融機関

NO	講義日 講義名	講義概要	講師
10	6月22日 不動産投資 マーケットと信 託銀行の不動 産業務	不動産証券化の進展により、不動産と金融は密接不可分な関係になり、日本の不動産もグローバル投資に組み入れられた。本講義では、グローバル化された日本の不動産マーケットにスポットをあて、その変遷及び課題について考察するとともに、信託銀行の不動産業務について述べる。	三菱UFJ信託銀行 橘田 万里恵
11	6月29日 拡大する相続 関連ビジネス	高齢化とともに遺産をめぐる紛争が複雑化し、家族間離間・遺産紛争などの諸問題がおきてきている。こうした際に遺言の効果や執行管理する受託者である信託銀行の役割を豊富な実例から紹介し、受講者とともに「遺言」効果をもう一度考える。	三菱UFJ信託銀行 灰谷 健司
12	7月6日 事務ミスを防ぐ 知恵と技術	「事務」は、金融サービス提供に不可欠な機能である。とりわけ信託銀行にとっては事務そのものに商品性が伴う。この仕事の本質を探り、「事務ミス防止」という普遍的な課題と取り組む際に必要な視点を明らかにした上で、行政を含むあらゆるオフィス、事業で応用可能な知恵と技術を学ぶ。	三菱UFJトラストビ ジネス 宮崎 敬
13	7月13日 企業金融と京 都式経営哲学	京都の100年を超える伝統的な老舗企業は1000社に上る。一方で世界先進企業が群生する京都。創業と守成の経営が融合して、ベンチャー精神旺盛にして企業を永続させる京都型経営思想が脈々と流れる。その経営哲学を掘り起こして、新種の産業などを発展させてきた原動力を探っていく。	アイ&アイ・アソシ エイツ 加藤 道彦
14	7月20日 企業年金を取り 巻く環境と課題	社会の根源的ニーズである老後保障をいかに確保していくか、その中で企業年金はどのような役割を果たしていくのか、現状制度を解説し、可能な選択枝について検討する。	三菱UFJトラストビ ジネス 千田 文彦

抱負・課題

- 金融の果たす役割はますます拡大し、デリバティブの使用により、これまでは提供できなかったような新しい形での運用商品や調達手段を生み出している。
- 一方、リスク管理が追いつかず、過大なリスクが生み出す負のインパクトが、リーマンショックのような世界規模での金融恐慌を引き起こすような事態も起きている。
- 今回の講義においては、銀行が社会に役立っているのかという原点に還ってその存在意義を見直し、金融機関本来の業務である与信に限らず、証券、資産運用、年金、不動産、相続など幅広い分野に携わる講師の目を通して、金融を色々な角度から分析し、その果たすべき役割を探っていく。
- 当社としての第1回目の開講であり、講師も多分野・多人数にわたるため、講義の進行方法や内容の統一の面で課題が残る可能性もあるが、一般的理論にとどまらない、現場の生の声を交えた具体的な内容としたい。